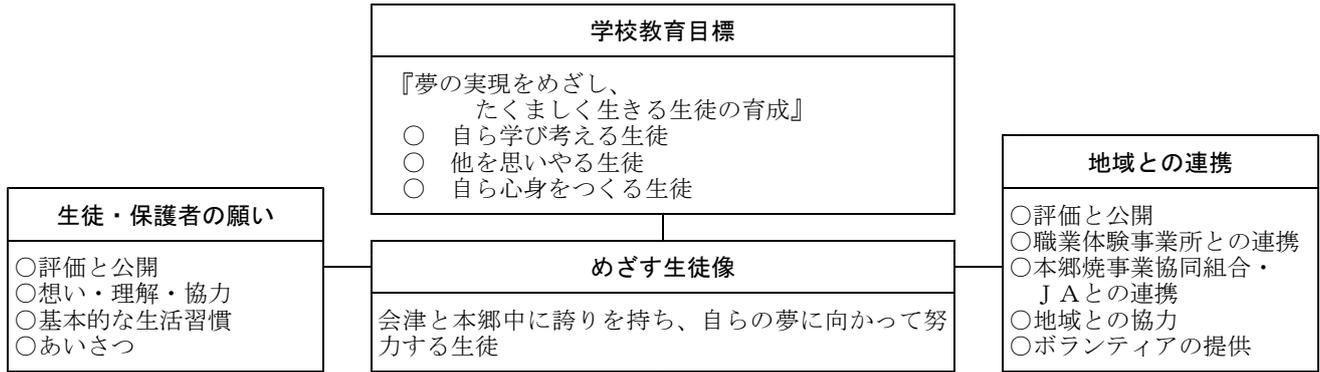


令和3年度 キャリア教育全体計画



キャリア発達に関わる4つの領域と身に付けさせたい能力							
領域	人間関係の形成	情報の活用	将来の設計	意志の決定			
領域	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力共同してものごとに取り組む。	学ぶこと、働くことの意味や役割、多様性を理解し、幅広く情報を活用して自己の進路や生き方の選択に生かす。	夢や希望をもって将来の生き方や生活を考え、社会の現実をふまえながら前向きに自己の将来を設計する。	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。			
能力	【自己理解能力】 自己理解を深め他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切に行動していく能力 【コミュニケーション能力】 多様な集団の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力	【情報収集・探索能力】 進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力	【職業理解能力】 様々な体験等を通して、学校で学ぶことと、社会職業生活との関連などを理解していく力	【役割把握・認識能力】 生活、仕事上の多様な役割や意義およびその関連性を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力	【計画実行能力】 目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画をたき、実際の選択行動等で実行していく能力	【選択能力】 様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力	【課題解決能力】 意志決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向けて、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力

各教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間	その他
① 分かる授業、成就感の味あえる授業を心がける。 ② 将来の職業生活に必要な基礎的知識・技能の習得を図る。 ③ 授業を大切にし、目標を持って計画的に学習できるようにさせる。 ④ 教科の中で自己の能力・適性を知り、自己分析の結果から自分を伸ばしていく能力を身につけさせる。	① 望ましい職業観・勤労観を養うための指導を計画的に進めることで、適切な進路選択や職業生活への適応に資する能力を養う。 ② よりよい生き方について様々な角度から考えさせることを通し、価値観を鍛えるとともに、望ましい進路選択の態度を育てる。	① 一人一人が存在感をもち、楽しく生活できるような学級づくりを工夫する。 ② 学習の仕方、学習計画の立て方や学び助け合う態度を育て、基礎学力の充実を図る。 ③ 生徒会活動・学校行事の在り方を理解させ、積極的に取り組む態度を養う。 ④ 進路学習の時間を確保するため、3年間を見通した計画で授業実践を実施する。短学活も利用し、進路に対する関心を深め、適切な進路選択ができるようにする。	① 3年間を見通して地元を知り、職業を知り、そして己を知る。そのことを将来の自己実現のために役立てる。 ② 教科の枠を超え、総合的に自分の能力・適性を伸ばしていく態度を養う。	① 適切な教育相談を通して、一人一人を生かすような指導・助言をする。 ② 保護者・地域社会・高等学校などの関係諸機関との連携を図る。

キャリア教育の基盤
○進路指導資料の整備・充実と効果的な活用 ○全職員の協力体制の確立と研修の充実 ○関係諸機関との密接な連携 ○生徒指導の充実と学年・学級経営の充実 ○保護者会の充実と研修会の開催 ○キャリアパスポートの活用